

「わたしの大好きなしんまいごはん」

五か東小学校 二年 下田 みさき

わたしのおじいちゃんはお米をいっしょ
うけんめいづくっています。

おじいちゃんは大ようで日にやけて、か
おがま^っ黒です。でも、か^っこういいです。

春にたねをまいて大きくな^ったなえを、水
い^っぱいの田んぼにうえます。わたしもおと
うさんとい^っし^ょに、トラクターにのりまし
た。うんてんせきは、たかいので、田んぼが

い^っぱい見えます。前に行^ったり後に行^った
り、とてもたのしか^ったです。うんてんせき
にはクローラーも入^っているので、すすしか^っ
たです。

わたしも、お手^っだいしました。十時のお
ち^やの時間に、おかあさんとい^っし^ょに、自
転車^こにの^っておち^やとおかしを、も^って行^き
ました。おじいちゃんとおとうさんは、「お
いしい、おいしい」と「ありがたし」とい^っ
てくれました。

おじいちゃんちゃんは、まい朝あさ、田んぼに行きます。お米が、大きくなっているかを見に行くのです。よらになると、かえらがゲエーゲエーとなっています。みんなでながよくうたっているように聞こえます。

夏になると白い花がさいて、みどりのお米ができてきます。あきになってお米が黄いろくなる、ユンバインでいていねいはいねかりをします。カリガールうらさいです。おじい

ちゃんちゃんは、テレビの天気よほうを見ます。

いつも、しんぱいしているのは、たい風がこないことです。いねがたおれてしまつからです。

おじいちゃんとおとうさんがかんぱつて、つくつたお米をせいまいして、まっ日ひらなお米こめになります。

だから、わたしは、しんまいたまたてごはんはきらきら光っておいしいので一ばん大喜びです。おじいちゃん、ありがとう。